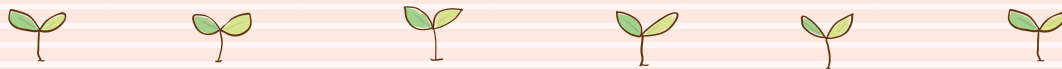




あだあじお通信



まる育サポート「あだあじお」は、丸亀市の利用者支援事業基本型、丸亀市子育て総合相談窓口です。子育て中のあらゆる相談を、子育て支援の専門家(臨床心理士・公認心理師等)を中心に幅広くサポートしていきます。個別相談をはじめ、子育て・思春期座談会、地域の子育て拠点での子育て相談会、子育て支援情報提供など実施しています。この事業に関わっている相談員の先生方にコラムをお願いします、順番にご紹介していきます。

お問い合わせ・申し込み

NPO法人 グランマール

ひまわりセンター3階

9:00～12:00 13:00～16:00

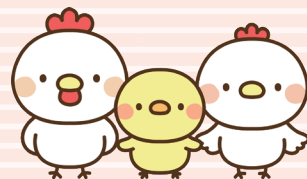
(0877) 85-8810 FAX (0877) 85-8811

e-mail adagio.npo@gmail.com

丸亀市健康福祉部子育て支援課

(0877) 24-8808

あだあじおホームページ

<https://maruiku-adagio.com/>

あだあじおの
ホームページを
開設しています。
ご覧ください。



子育ての中の「自分らしさ」

子育て中の方、特にお母さんたちのお話を伺う中で、こんな言葉をよく聞きます。それは「子どもを産んでから、自分らしさというものが分からなくなった」というものです。子どもは可愛い。でも子どもを産んでからは自分の時間がなくなり、人の迷惑にならないように気を遣い、感情を抑える毎日。子どもを産む前は気が合う人と仲良くしていたけれど、今は子どもの所属する集団に応じて、年齢や価値観の違う人の中でうまくやっていかなくてはならない。「子どものために、親同士の人間関係で失敗しないよう必死です」と話してくださったお母さんもいらっしゃいました。

パパママ教室や育児の講習会では、手作りおやつやおもちゃ、子どもとのより良い関わり方がレクチャーされ、言葉にはせずとも、ていねいな育児をする良い母親でいることが求められる空気があります。久々におしゃれをして、好きなライブに出かけようとしたら「母親なのに」「主婦は気楽でいいね」と言われたお母さんの話もお聞きました。世の中が大きく変化しているとはいえ、日本はまだまだジェンダーバイアスが色濃く残る国と言われています。育休中だから家事も育児も女性がやるべき、子どもはやっぱりママがいい(だからママよろしくね)、といった性別による役割分担への思い込みがある限り、子育てに女性が「自分らしさ」を加えていくことは難しいのかもしれません。それなのにSNSや雑誌では「育児・仕事・おしゃれも諦めない素敵ママ」特集が頻繁に組まれ、忙しい中でも育児や仕事を両立し「自分らしい」日々をおくるキラキラしたママさんが登場しています。それらの姿がメディア用のものであると分かってはいたながらも「子育て」と「自分らしさ」の狭間で揺れ動くお母さんたちにとって、キラキラ輝く存在を目にすることは、自信をなくすことにつながってしまうのかもしれません。

思い返すと私自身、子どもを産んでから周囲の人に「すみません」と言う機会が増えました。特に産後～乳児期は、子どもが泣き止まないとき、お店でござとすると、子どもが熱を出して仕事を休ませてもらうとき…等、常に誰かに謝っていたような気がします。子どもや自分が周囲や社会に迷惑をかけている気がして、肩肘張り、自分らしさを意識する余裕もありませんでした。今思うと、子どもが思うようにならないのは当たり前。おっちょこちょいだけど面白いことが大好きな私の自分らしさを、周囲の人に助けてもらいながら、子育ての中に加えていけたら良かったなあと感じています。

あだあじおや学校で相談に来られるお母さんたちは、お子さんの話を中心にしてくださいませ。ですがお母さんご自身の好きなもの、最近ちょっとしたこと等、そんな話を聞かせてもらえることを大事にしたいと思っています。お母さんたちの「自分らしさ」に触れ、ぼんやりしていたお母さん像がくっきりしてきたとき、抱えておられる不安や心配ごと、お子さんとの関わりのヒントが見えてくることもあります。しんどいときは「自分らしさ」という言葉を聞くことすら苦しくなるかもしれません。時には「子育てとはこうあるべき」という考えを背中からおろし、自分の好きなこと、大切なものに触れながら、子育てしている世の中になればと感じています。

臨床心理士
公認心理師田中
たなか彩
あや



丸亀市子育て支援 総合相談窓口

まる育サポート

～利用者支援事業母子保健型・基本型～



母子保健型
ハッピー
サポート丸亀
(健康課)



基本型
あだあじお
(NPO法人 グランマール)

子育ては、喜びとともに、不安や悩みが伴います。

戸惑うことも多かったり、思ったように進まなかったり、真剣だからこぼれだり落ち込んだりします。

子育ての協力隊をつくりながら、自分自身や子ども、それぞれの家庭にあった子育てをしていくことは大切です。

困ったとき・相談したいけどもう少し様子をみようかと迷う時にも、**まる育サポート「あだあじお」**にご連絡ください。

安心して話ができる場を設けます。

あなたの悩みに寄り添い、相談や適切な機関と繋ぐ手助けや、子育てサービスなどの情報提供をします。

事業

～ 専門相談員が週4日 半日常駐しています ～

個別相談

来所相談・Zoom相談・電話相談を行っています。専門相談員が相談をお受けします。

予約制・相談時間50分

*Zoomアプリの取り方、Zoom相談の手順はホームページに掲載しています。

出張相談

専門相談員が子育て支援センターや子育てひろば等へ出張して相談を受けます。

あだあじお 子育て座談会

妊娠中～乳幼児、小学生の保護者対象。専門相談員がコーディネーターとなって、少人数グループで行います。

あだあじお 思春期座談会

小学校高学年以降の子どもの保護者対象。専門相談員がコーディネーターとなって、少人数グループで行います。

メール相談

あだあじおホームページメールフォームからお送り下さい。

思春期相談日

非行等、思春期の相談に対応します。

保育・教育相談日

月1～2回(半日)、元保育士・元小学校教員が対応します。

入園・入学相談会

入園や入学に際しての不安や心配に対応します。

※他の方の相談が入っているため待っていただくことや、ゆっくりお話していただく場所がない状況も考えられますので、まずお電話にてご連絡ください。

保育・教育 相談日

8/18金、9/22金、10/27金、11/17金、12/15金

13:00～16:00

特別支援教育・LDの学習支援に詳しい元教員の先生が対応します。

9/14木、11/9木 13:00～16:00

保育所長の経験がある先生が対応します。

思春期相談日

8/23水、10/11水、12/1金 13:00～16:00

※まずはお電話
ください。



動画を配信しています

岡田倫代先生の動画

題名は『子どもが輝く魔法の対応 ほめるコツ、叱るコツ』です。



香川県NPO基金、丸亀市市民活動ステップアップ補助事業、NPO法人グランマール出資にて、所属の専門相談員15名が執筆し、「子育てを支える専門家から子どもを育てているみなさんへ」を作成しました。



こちらから
ダウンロード
できます。



地域連携

- ・子育て支援センター等へ出張し、子育ての話をしたり、座談会、個別相談等を行います。
- ・地域子育て支援拠点事業等への講習を行っています。

情報提供・啓発

- ・相談時の情報提供
- ・あだあじお通信の発行
- ・あだあじおホームページ



丸亀市子育て支援情報パンフレットの発行

- ・Vol.1 妊娠・出産
- ・Vol.2 相談
- ・Vol.3 ひとり親支援・手伝ってほしい時
- ・Vol.4 障がい児支援
- ・Vol.5 子どもを預かってほしい
- ・Vol.6 お出かけしよう
- ・Vol.7 幼稚園・保育所・こども園 入園・入所の方へ
- ・Vol.8 小学校・中学校 入学・在学の方へ
- ・Vol.9 離学者・家族支援



あだあじおホームページからダウンロードできます。
市役所2階・3階、ひまわりセンター1階・2階に設置しています。

インフルエンザ・コロナウイルス等感染予防対策を行っています。

※保護者の方やお子さん、ご家族に、発熱・咳などの症状がある時。

※お子さんが通う園、学校、ご家族の職場等が閉鎖・待機になっている時。

※インフルエンザについては、発症した後5日を経過、かつ解熱(37度以下)した後2日(幼児にあっては3日)を経過するまで。(学校保健安全法施行規則第19条より)

※コロナウイルスについては、発症の日から5日間を経過、かつ症状が軽くなってから1日経過するまで。(文部科学省の省令改正より)

来所相談を希望されている方で上記にあてはまる場合は、来所をお控えください。

Zoom相談や電話相談に切り替えることもできます。

キャンセルされる場合は、新たに予約をお取りします。ご連絡ください。

※密にならないように保護者以外のご家族(祖父母・きょうだい等)の来所はなるべくご遠慮下さい。

※換気のため窓を開けています。服装等で調整をお願いします。

※来所時に体温測定と健康チェックをお願いします。

※手指の消毒をお願いします。



次回あだあじお通信は**2023年12月**に発行します。お楽しみに!